



私の秋田愛

[秋田市観光クチコミ大使]

広島空港ビルディング(株) 取締役執行役員

みずのひとし
水野 仁氏

2009年5月明るい陽射しの中、秋田に到着した飛行機を降りロビーから外へ出た時、周りの新緑に少し圧倒されながら思わず大きく深呼吸をしました。それまでの勤務地は中国の天津市であり、2008年の北京オリンピックの前後の期間、目まぐるしく変わっていく活気に満ち溢れた喧噪の街からの異動でした。秋田空港での深呼吸は、故国へ帰ってきたことの安心感と爽やかな自然がそうさせたのでしょうか。

赴任当初、まずは秋田を知ろうと県内を駆け巡りました。春は千秋公園から始まり、角館の桧木内川堤、大潟村、本荘公園の桜めぐり。夏になり、土崎港曳山祭り、竿燈まつり、西馬音内盆踊り、毛馬内盆踊り、花輪ばやし、能代の花火、大曲の全国花火競技大会。秋になれば栗駒山、小安峡、抱返り溪谷で紅葉狩り。冬になれば田沢湖、八幡平、森吉山のスキーに乳頭温泉などの秘湯めぐり、日本一多いと言われる冬祭りも楽しみで、刈和野の大綱引きは毎年参加し2勝1敗の戦績でした。他にもなまはげ柴灯祭り、梵天祭り、紙風船上げ、角館火振りかまくら、横手のかまくら等々数えきれません。

食も岩牡蠣、はたはた、比内地鶏のきりたんぼ鍋、稲庭うどん等どれも絶品。春になると隣のお婆ちゃんから山盛りいただいた「ふきのとう」を天ぷらにしてお腹一杯食べたことも忘れられない思い出です。

2010年にJALが経営破たんしたことで、皆様にご迷惑をおかけしました。この時ほど秋田の皆様温かい人情を感じたことはありません。お叱りを受けることを覚悟し各所にお詫び訪問をしても、多くの方から逆に励ましの言葉をいただきました。さらに、言葉に留まらず、多くの酒造会社様や製菓会社様には「JALガンバレ!」とばかりに無償でキャンペーンをお引き受けいただきました。今でも感謝

の念に堪えません。

その後、ジャパンプロジェクトと称するJALと地域が共同で地域創生(JALは地域観光情報発信や特産品のプロモーションを機内誌、ビデオ、ラウンジ、国内・国外向けサイトで実施する)に取り組むプロジェクトの秋田での第1回を2011年10月に実施することができました。このプロジェクトでは、地元産の食材を使った料理を国内線ファーストクラスの機内食として供していくため、地元のレストランに協力していただく必要がありました。私が惚れ込んだ結婚式場様をお願いしたところ、二つ返事で快くお引き受けいただきました。

このプロジェクトは継続しており2017年までに既に4回実施され、現在ではプロジェクトに留まらず、JAL×地域提携、秋田特産品の東京での販売協力、スポーツ交流といった形で発展拡大していると聞いています。地域の皆様との連携強化を嬉しく思うとともに魅力溢れる秋田の観光資源や特産品が全国・世界でより認知され、外国人を含め多くの方が訪れることを期待しています。

今は広島空港に勤務しており、稀に空港で「秋田弁」を耳にすることがあります。世界中の言語・方言が行き交う中で瞬時に聞き分ける自分の耳にビックリするとともに、それこそが、私の「秋田愛」の所作に違いないと確信しています。

遠く離れていますが、これからも愛する秋田を応援していきます。

■略歴

1959年 名古屋生まれ
1991年 日本航空 入社
1997年 国際団体販売部
2003年 国際営業部
2005年 中国天津支店長
2009年 秋田支店長
現 在 広島空港ビルディング 取締役執行役員